

東日本大震災復興支援サントリー東北サンさんプロジェクト「チャレンジド・アスリート奨励金」助成事業

平成 30 年度障がい者スポーツ特別研修会開催要項

『地域を変える障がい者スポーツの取組み～ホルスト・ストローケンデル先生を偲ぶ～』

1 趣 旨

昨年、8 月、ホルスト・ストローケンデル先生がご逝去された。同年 3 月には本会場において障がい当事者に目を向け、効果的なスポーツ導入の重要性を中心に講演をいただいたばかりであった。今回は、テーマを当事者から地域にも広げ、スポーツがもたらす心理的な変化による行動を地域がどのように受け入れるか、当事者と家族、指導者、住民等がどのようなステップを辿り、ネットワークを構築するかの事例紹介や検証を行い、共生社会の実現に向けた障がい者スポーツの取組みの方向性を情報共有することで先生の功績を後世に伝えたい。

2 主催

- (1) 第 1 部 一般社団法人コ・イノベーション研究所
- (2) 第 2 部 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会、サントリーホールディングス株式会社

3 共 催 公益社団法人日本フィランソピー協会、岩手県障がい者スポーツ指導者協議会

4 後 援 公益財団法人岩手県体育協会、岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 岩手県スポーツ推進委員協議会、岩手県特別支援学校連絡協議会 NPO 法人岩手県レクリエーション協会、一般社団法人岩手県理学療法士会 一般社団法人岩手県作業療法士会、岩手県障がい者社会参加推進センター（以上、予定）

5 日時・会場

- (1) 日時：平成 31 年 3 月 21 日（木祝）
 - ①第 1 部 10：00～12：00（受付 9：30～）
 - ②第 2 部 13：00～15：40（受付 12：45～）
- (2) 会場：ふれあいランド岩手・ふれあいホール（1 階）
〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内
TEL 019-637-7444 / FAX 019-637-7544

(3) 日程表

9:30	10:00	10:10		12:00	12:45	13:00	13:10		13:50	14:00		15:30	15:40
受付	開 会 行 事		DVD 講演	休 憩	受 付	開 会 行 事		基 調 講 演	休 憩	パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン 事 例 紹 介 (岩 手 県)		閉 会 行 事	
第 1 部				第 2 部									

- (4) 参加費：第 1 部／3,000 円（DVD 付）・第 2 部／無料

6 定 員：70 名程度

7 参加対象者

- (1) 障がい者スポーツ指導員、(2) 福祉施設及び特別支援学校職員
- (3) 各市町村体育協会関係者、(4) 各市町村スポーツ推進委員
- (5) 総合型地域スポーツクラブ関係者、(6) リハビリ関係職員、(7) その他

8 申込方法

平成 31 年 3 月 14 日(木)までに、別紙申込書により、郵送・FAX・E メール等によりお申込みください。

9 内容

(1) 第1部：DVD 講演 (10:00~12:00) ~詳細は別紙チラシ参照

①テーマ「成功体験を導く導入指導法を学ぶ」

②講師：一般社団法人コ・イノベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏

(2) 第2部

①基調講演 (13:10~13:50)

1) テーマ「当事者と指導者の『これならできる!』が地域を動かす!」

2) 講師 (パネルディスカッションでは助言者としてご参加いただきます。)

びわこ成蹊スポーツ大学名誉教授/児童デイサービス アクティブライフ・スポーツ教室 代表 金田 安正 氏



大学卒業後、当時の西ドイツに渡り、ケルンスポーツ大学で障害者スポーツを学び、帰国後、国立障害者リハビリテーションセンター病院/更生訓練所にて、主に身体障がい者を対象にスポーツや運動をととした機能訓練を20年近く行う。「『こころ』が動けば『からだ』が動く」をモットーに指導。1991年から同センター学院で、スポーツをととした機能訓練を行う専門家の養成指導に携わる。2000年から富山に戻り、今度は「『からだ』が動けば『こころ』が動く」をモットーにし、谷野呉山病院(精神科)やセーナー苑(知的+身体障がい者施設)にてスポーツ・レクリエーション指導を行う。2003年、滋賀県の琵琶湖西岸にびわこ成蹊スポーツ大学が新設され、教授(専門:障害者スポーツ)として招聘される。大学では障がい児者のための水泳教室を開設し、肢体不自由児者に加え、多数の知的障がい児や自閉症児者の指導を行う。

②パネルディスカッション (14:00~15:30/発表45分(15分×3名)+ディスカッション45分)

1) 発表者:堀川 裕二 氏(日本卓球バレー連盟副会長兼普及委員長/社会福祉法人太陽の家)

発表テーマ「(実践)ユニバーサルスポーツによる地域コミュニティ作り」



岡山県出身。弘前大学卒業前に父、堀川龍一氏(岡山の旭川荘設立者の一人)の紹介で太陽の家創設者、中村裕先生と出会う。その後、長きに渡り、車いすバスケットボール、ボッチャなど様々な障がい者スポーツに「深く広く」携わる。現在は、卓球バレーを活用しながら、全国各地において従来の福祉領域の枠組みを超えた新たなネットワーク作りをサポート。震災翌年からは、本県における卓球バレーの普及と希望郷いわて大会での卓球バレーのオープン競技実施にも大きく貢献。本日は、これまでの活動を含めて発表していただく。

2) 発表者:中嶋 実樹 氏(弘前大学教育学部附属特別支援学校教諭)

発表テーマ「特別支援学校と障がい者スポーツの拠点~委託事業を通しての成果と課題」



スポーツ庁委託事業「Special プロジェクト 2020(特別支援学校を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業)」を展開している。青森県障害者スポーツ協会理事、青森県障害者フライングディスク協会事務局。校務の他に委託事業、さらには、障がい者スキー、フライングディスク、主婦に育児もこなすスーパーウーマン。その多忙ぶりは、大谷の二刀流以上?本日は、東北管内の支援学校で唯一受託したスポーツ庁委託事業の実践における成果と課題をもとに障がい者スポーツの活動拠点作りについての所感をいただく。

3) 発表者&コーディネーター:橋本 大佑 氏(一般社団法人コ・イノベーション研究所代表理事)

発表テーマ「障がい者スポーツの普及を通じた持続可能な社会課題解決~SDGsの推進」



筑波大学卒業後、ドイツに渡り、車いすスポーツを通じた障害児・者への導入指導方法について学ぶ。2009年に帰国後、国内において障がい者スポーツの導入における指導の開発・普及に取り組む。ドイツで師事したホルスト・ストローケンデル先生の理念を実践するために法人設立。障がい者スポーツだけではなく、様々な社会課題を分析し、その解決方法を研究・開発。現在は、企業研修等でも講演依頼が多い。本日は、このパネルディスカッションのコーディネーターを務めるとともに、これまでのストローケンデル先生との活動を通して見える今後の日本の障がい者スポーツの方向性についてご教示いただく。

10 申込・問合せ先

(一社) 岩手県障がい者スポーツ協会 (担当:三浦)

〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内

TEL019-637-5055/FAX 019-637-7626/E-mail: info@iwate-adaptive.or.jp

この事業は東日本大震災復興支援サントリー東北サンさんプロジェクト「チャレンジド・アスリート奨励金」の助成により実施します。

SUNTORY

公益社団法人
日本フィランソロピー協会